



駒場の丘

【教育目標】
自ら学び 新しい時代を拓き
心豊かにたくましく生きる児童の育成

- ・心かよいあう子
- ・まなび合う子
- ・きたえ合う子

第6号 R4.9.30(金)

文責：長山

深い学びに向けて！

新型コロナウイルス感染症が少し下火になってきました。しかしながらこの後についても不安を抱かざるを得ない状況は続いています。そのような情勢ではありますが、子ども達の学習活動を充実させるべく、興味関心を活かしたり、体験活動を取り入れたりしながら学習活動を進めています。

2年生は、黄金山キャンプ場のところに出向き、ザリガニ釣りをしてきました。生活科の生き物にかかわる学習になります。ザリガニを釣ったり、育てたりする中で気づきを大切にしています。生き物を扱うことは、命の大切さを考えることにもつながります。

3年生は、ゲストティーチャー（千厩認定農業者、奥玉農産、食生活推進委員、磐清水の里村など、地域の皆様）をお招きしました。千厩の特産物についてお話を聴いたり知りたいことをインタビューしたり、千厩の自慢の味について理解を深めることができました。以前伺ったかさい農産の見学とも結びついています。

5年生は、障がい者理解の出前授業を行いました。聴覚障がいの理解を深める中で相手を理解することの難しさや、相手の気持ちになって考えることの大切さを実感しました。

他の学年でも、様々工夫しながら学習を進めていきます。どの学年の学習も一見別の学習のように見えますが、各教科や学年のつながりを意識することによって、子ども達の学びが深まると考えて学習活動を展開しています。感染症への対策を十分に行いながら、これからも生きた体験を取り入れながら学習活動を進めていきます。



【ザリガニ釣りの様子】



【3年 千厩味じまん】



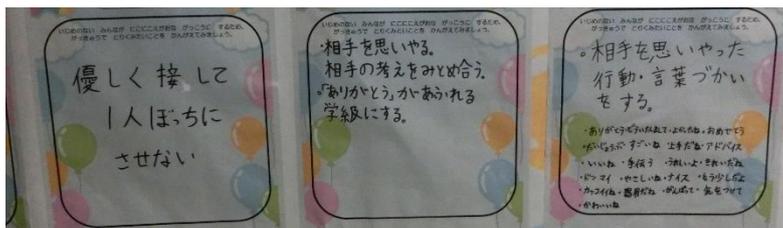
【5年 出前授業】

自分がされて嬉しいことを友達に

児童会

児童会9月の生活目標は、「自分がされてうれしいことを友達にしよう」でした。

執行部が学習発表会への取り組みの中で、協力しあえる雰囲気をつくりたいという願いから立てられて目標です。「千小にここにこそせんげん」と合わせて、思いやりあふれる学校を目指します。



【掲示されている各学級の「ここにこそ宣言」より】

一関地方小学校陸上競技大会

9月28日(水)、3年ぶりに陸上競技大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が収束しないため、6年生に限った開催となりました。これまでには無い配慮をしながら、たくさんの皆さんのご理解とご協力によって開催できたことに感謝がありません。



子ども達は約3週間、休み時間や放課後の短い時間ではありましたが、精一杯練習に励んできました。その成果を存分に発揮できた1日だったと思います。応援の子ども達は声を出ることができないため、メッセージの書かれたパネルを掲げ、手にはポンポンを持ちながら手拍子で心の声を届けました。大きな声はなくても選手にとっては、どれだけ心強かったことでしょうか。応援の子ども達にとっては、友達の支えとなる喜びを感じることができたのではないかと思います。



今回の取組を通して、このような機会があったこと、たくさんの支えがあったことへの感謝の気持ちを忘れないで欲しいと思っています。また、「願う」ことが自分を成長させてくれるスタートであることに改めて気づいてもらえたらと思っています。このことは、6年生全員に伝えました。卒業までの半年間、自分なりの願いをもってそれに向かってますます成長していくことを楽しみにしています。(結果は改めてお知らせします)



それぞれの活躍
精一杯がんばりました



ある日の出来事から・・・

- 陸上大会の男子リレーが終わった時のことです。陣地で見えていた6年生から、バトンがきれいにわたって終始トップを譲ることなくゴールした直後でした。「感動した。ビデオ無いのかな。もう一度見たい。」との声。その後アナウンスで1位が確定すると、陣地は大歓声。仲間の活躍を喜び、感動できる子ども達に心を打たれました。
- ある朝の昇降口。掃除用具入れの扉がきちんとしまっていないででした。すると、6年生2人が自主的に用具入れの中を整理してくれました。たくさん詰まっている用具を取り出し、扉が閉まるように、入れ方を考えながら入れていました。私たちの自慢である「誰かのために手を使うこと」を実践してくれている姿をうれしく思います。